

鳥取県中部地震における学校等被害状況とその対応について

1 被害状況

(1) 人的被害

4件（軽傷3件、重傷1件）

- ・岩美町立岩美西小学校（児童1人が打撲）
- ・倉吉市立小鴨小学校（児童1人が軽い怪我）
- ・倉吉市立西中学校（生徒1人が怪我）
- ・境港市立上道小学校（児童が避難途中、転倒→右手親指亀裂骨折 全治6週間）

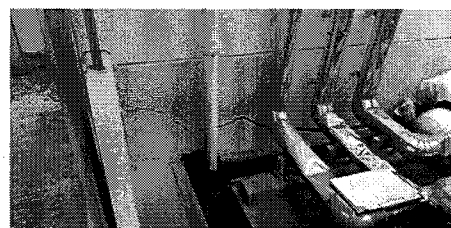


崩落した瓦（倉吉農業高）

(2) 物的被害

公立学校施設関係：計60件

- ・小学校28校、中学校15校、県立高等学校8校、県立特別支援学校5校、給食センター4件
- ・壁ひび割れ、窓ガラス破損、天井板落下、備品破損等

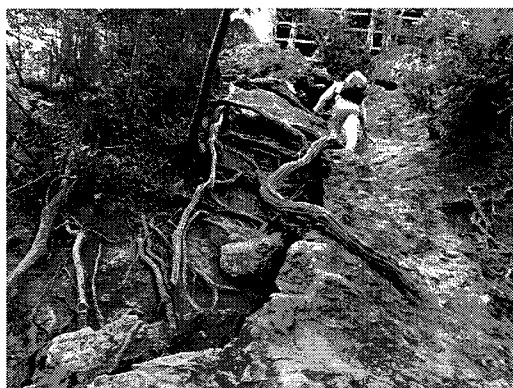


校舎に生じたクラック（倉吉西高）

私立学校施設関係：計3件

- ・倉吉北高等学校、湯梨浜学園高等学校・中学校、鳥取看護大学・鳥取短期大学
- ・体育館壁プレス、校舎防火扉、防火扉、エレベーター等の破損

文化財関係：計30件



国重要文化財文殊堂を支える岩に生じた亀裂（三徳山三佛寺）



漆喰壁が崩落した倉吉白壁土蔵群



崩落した大神山神社奥宮の参道石垣



蔵の外壁が壊れた尾崎家住宅（湯梨浜町）

2 臨時休校の状況

10月24日 (月)	<ul style="list-style-type: none"> ・7校が臨時休校（倉吉東高、倉吉西高、倉吉農業高、倉吉総合産業高、倉吉北高、倉吉養護学校、湯梨浜学園高等学校・中学校） ・鳥取中央育英高は午後の授業を打ち切り ※ 公立小・中・特別支援学校は通常授業
10月25日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての公立学校及び私立学校が「通常授業」

3 学校給食の状況

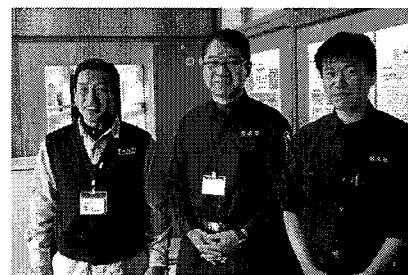
- ・倉吉市については、給食センターの調理場、洗浄場の外壁や天井板の落下、器具の破損等があり、給食再開まで数か月程度となる見込み。このため、10月24日（月）からパンと牛乳に1品つけるなどの簡易給食を実施。11月1日（火）以降は弁当持参。（持参できない児童生徒については、市内業者の弁当斡旋等を検討中）
- ・三朝町、湯梨浜町、琴浦町については、10月24日（月）から通常どおり実施。北栄町については、10月25日（火）から再開。



天井崩落など大きく損壊
(倉吉市給食センター)

4 これまでの主な取組

- ・公立学校については、10月24日（月）にスクールカウンセラー13名を中部地区の公立学校に派遣。児童生徒等と面談等を行い、心のケアが必要な児童生徒の状況を把握し、心のケアが必要な児童生徒に対するカウンセリングを実施（現在も継続中）。
- ・私立学校については、学校が再開された10月25日（火）から、倉吉北高と湯梨浜学園にスクールカウンセラーを派遣し、生徒へのカウンセリングを実施（現在も継続中）。（倉吉北高へは鳥取敬愛高から、また湯梨浜学園には鳥取城北高から各1名のスクールカウンセラーを応援派遣。）
- ・兵庫県教育委員会の震災・学校支援チーム（EARTH アース）に派遣を要請し、10月24日（月）から28日（金）までの5日間、9名の隊員から児童生徒の心のケア、学校避難所運営、学校給食再開に向けたアドバイス等の支援を受けた。また、同隊員を講師に教職員を対象とした心のケア研修会を開催した（10/27、10/31、11/1の3回開催）。



アースの隊員(左)と熊本県の応援職員

※「震災・学校支援チーム（EARTH）」とは、防災に関する専門的な知識や実践的な対応力を備えた教職員のチーム。平成12年4月以降、北海道有珠山噴火、東日本大震災等、被災地の学校再開の支援等に取り組んでいる。

- ・学校施設や倉吉市立給食センターの施設被害に迅速に対応するため、各市町教育委員会に県教育委員会の建築技師等を派遣（延べ14名）するなど、支援を実施。
- ・県教育委員会の文化財主事が県内を巡回し、いち早く文化財の被害状況を確認するとともに、今後の復旧対応等について検討。

5 今後の主な取組

<p>児童生徒等の 心のケア</p>	<p>【児童生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・震災・学校支援チーム（EARTH）から学んだノウハウを活かして、教職員が児童生徒の対応に当たるとともに、公立・私立含め中部地区の学校（県立7校、公立38校、私立2校）にスクールカウンセラーを重点的に派遣し、児童生徒の心をケアに対応。 ・スクールカウンセラーによる相談体制の充実について、10月専決で予算措置済。 <p>【教職員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の心身の疲労等が表面化してくる時期であるため、「心の健康相談員」の派遣や、ストレスチェック制度や相談電話の活用を呼びかけるなど対応。
<p>学校施設・給食 センターの復旧</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設の早期復旧に向けて、継続的に各市町教育委員会を支援。 ・私立中学校・高等学校及び短期大学・大学の教育活動を早急に回復するため、施設・設備の復旧に要する経費を支援（10月専決で予算措置済）。 ・倉吉市の学校給食再開に向けて、建築技師の派遣など人的支援を継続するとともに、今後の給食対応については、周辺町にも増量調理が可能な献立協力を呼びかけ、相談しながら、倉吉市教育委員会を支援。
<p>文化財の復旧</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文化庁など関係機関と調整しながら、文化財所有者等と今後の修復方法について検討を行い、緊急に保存修理する取組を支援（10月専決で予算措置済）。